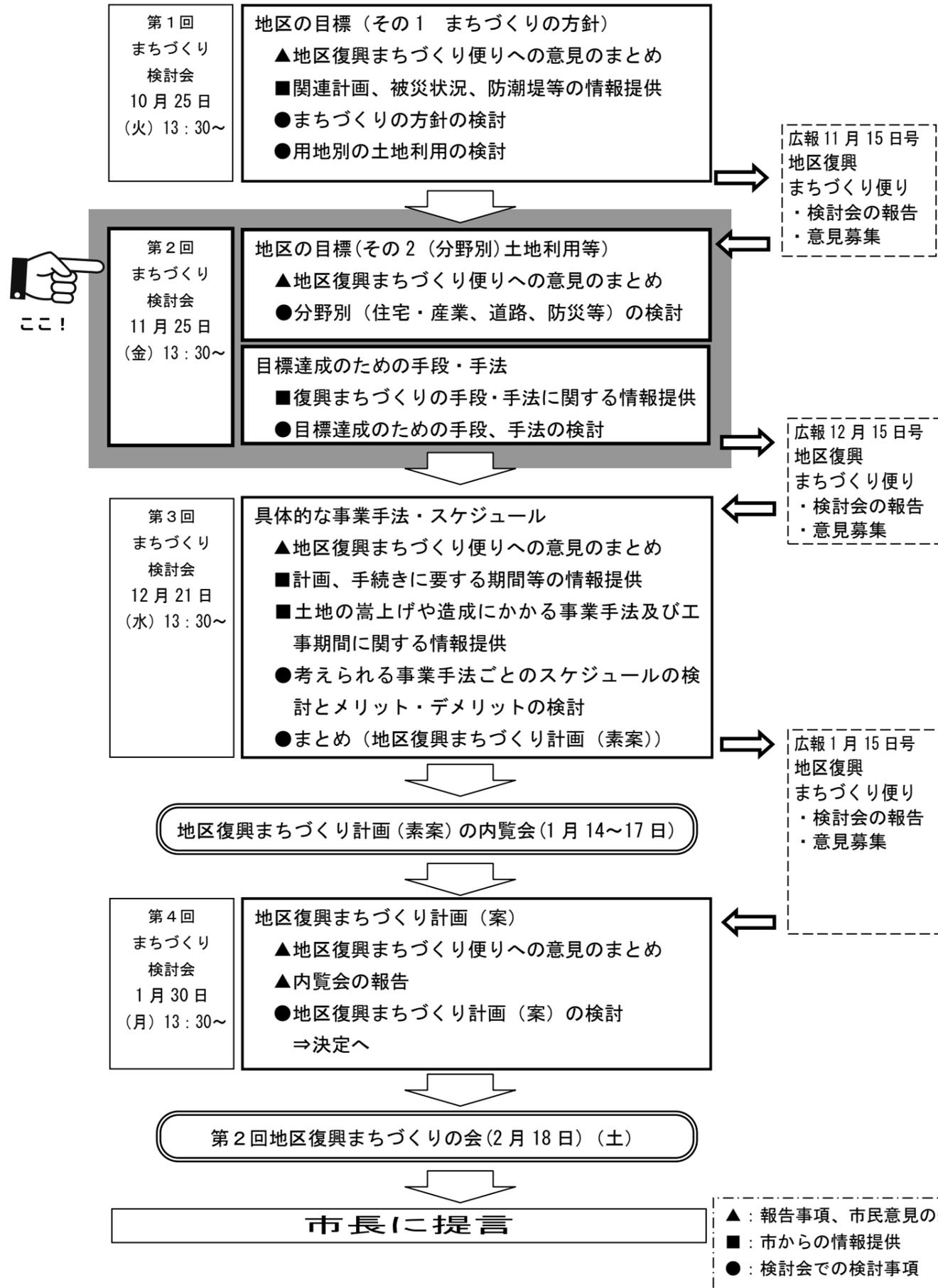


田老地区復興まちづくり検討会の各回の検討事項



第2回検討会の検討事項

- 第1回検討会では、復興まちづくりについて、みなさんの思いを語っていただきながら、地区復興まちづくりの方針や用地別土地利用の方針について、意見の共有を図りました。
- 第2回検討会では、第1回検討会の意見まとめと、地区復興まちづくり便りへの意見、ふっこうまちづくりの手段・手法を踏まえ、分野ごとに絞った検討を進め、住宅や産業などの土地利用、避難道路、防災施設等の整備方針をまとめていきます。

1 検討会規約等の確認 (資料2)

第1回検討会で協議した結果を規約等へ反映しました。確認してください。
なお、会長を選出する案と選出しない案を作成しましたので、いずれにするかも当日検討していきます。

2 前回検討成果の確認等

- (1) 第1回検討会の成果 (資料3)
第1回検討会で検討した内容については、まとめてみました。確認してください。
(※地区復興まちづくり便りに掲載してものと同じものです。)
 - (2) 地区復興まちづくり便りの成果 (資料4)
第1回検討会の検討成果を地区復興まちづくり便りに掲載しました。それに対するご意見をいただいています。確認してください。
(⇒事前配布以降に届いたものは検討会当日に配布します。)
- ◆(1)(2)の確認をするとともに、意見を踏まえて修正すべきことなどについて検討しましょう。

3 情報提供

- (1) 第1回検討会で出た意見に関する技術的検討 (資料5)
第1回検討会で出た意見をもとに造成イメージ案や津波シミュレーション等の技術的検討を事務局で進めています。その結果を説明します。今後の検討の参考にしてください。
- (2) エリア別必要戸数、年代別人口構成 (資料6)
今後の検討の基礎資料として、地区内のエリア別必要戸数や年代別人口構成を調べました。今後の検討の参考にしてください。
- (3) 復興まちづくりの手段・手法 (資料7)
復興まちづくりを進めるための手段や手法の紹介と、検討にあたっての留意点を説明します。今後の検討の参考にしてください。

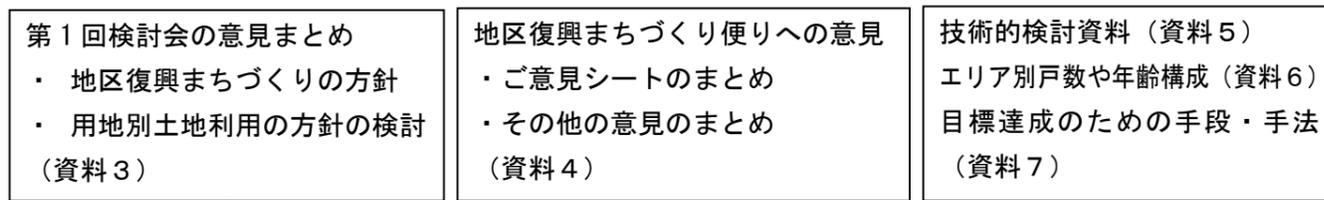
4 分野別 (住宅・産業、道路、防災等) の検討

第1回検討会では用地別の土地利用について検討しました。今回はその成果を全域にわたり具体的に検討していきます。その際、住宅・産業等の土地利用と、道路、防災等の施設に分けて検討を進めていきます。(⇒次頁の検討イメージ参照)
それぞれ検討したものを発表しあって、検討結果をまとめていきます。

5 目標達成のための手段・手法の検討

検討した各方針を実現するための手段・手法に関して、メリット（利点）やデメリット（問題点や課題）を検討していきます。（⇒次頁の検討イメージ参照）
それぞれ検討したものを発表しあって、検討結果をまとめていきます。

◆検討イメージ参照

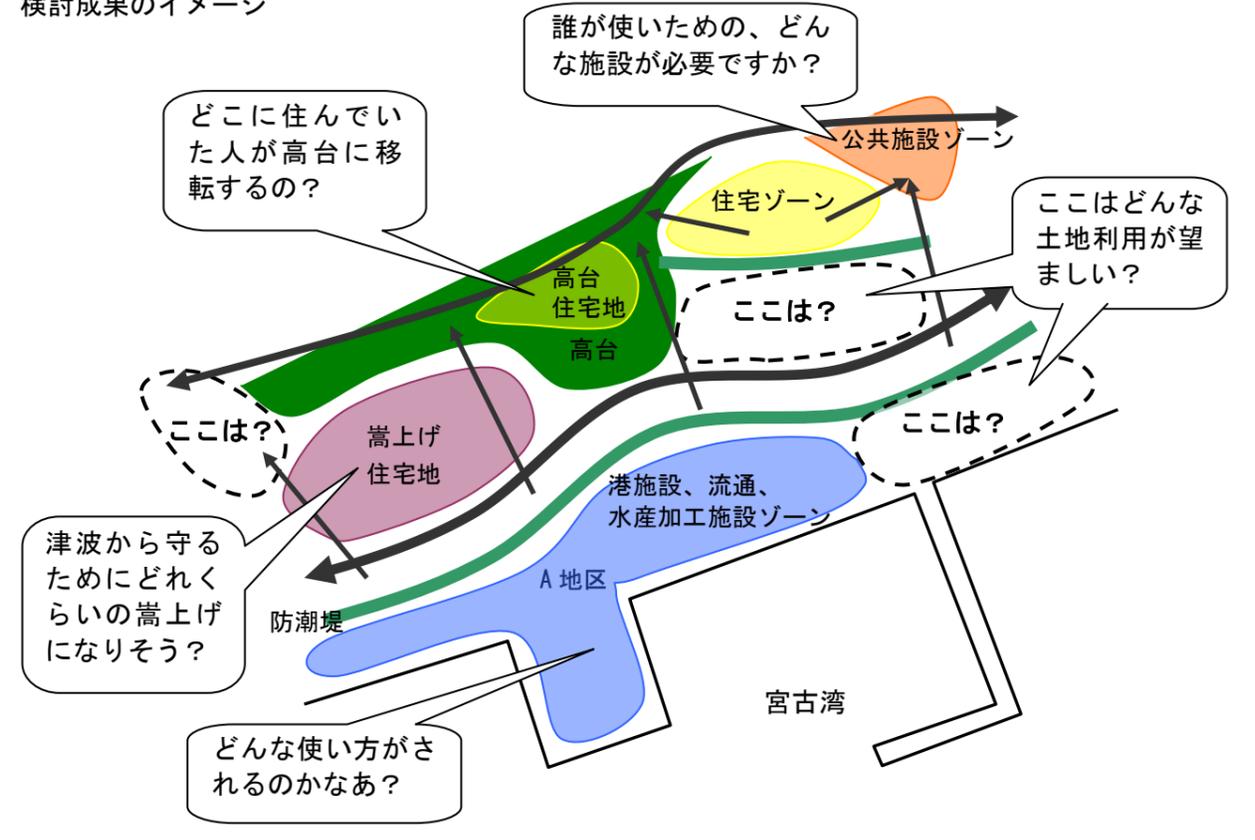


検討1 住宅・産業等の土地利用の方針の検討

第1回検討会で用地別土地利用の検討を進めました。そこで共有できた土地利用の考え方を下図にしながら、地区全域について具体的に以下のことを検討しましょう。

- ・ 地区内の全エリアにおいて、どのような土地利用が望ましいか考えましょう。
- ・ 住宅地を移転する場合など、どのエリアの方が移転するのかを考えましょう。
- ・ 産業振興のための土地利用について、具体的なアイデア、要望等を考えましょう。
- ・ 人が集まる拠点として、どこにどのようなものが必要なのかを考えましょう。

検討成果のイメージ

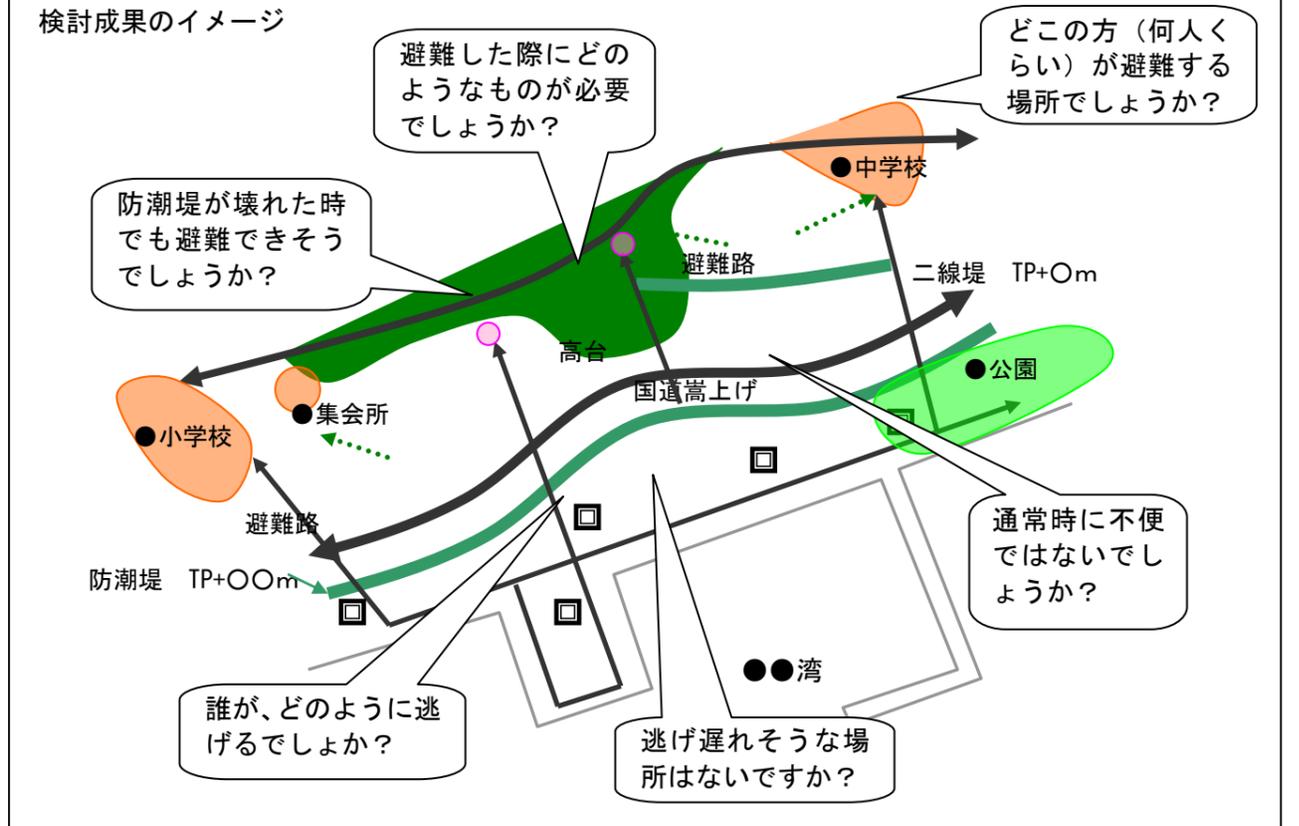


検討2 道路、防災等の方針の検討

第1回検討会で用地別土地利用の検討において、避難道路や避難場所などについても多くの意見が出ました。そこで共有できた避難道路や避難場所などの配置の考え方を下図にしながら、地区全域について具体的に以下のことを検討しましょう。

- ・ 通常時の利便性についても考慮して幹線道路等のあり方について考えましょう。
- ・ 防潮堤が壊された場合を想定して、避難道路や避難場所について考えましょう。
- ・ 地域間の道路ネットワークについて考えましょう。
- ・ 避難施設の配置や設備などについても考えましょう。

検討成果のイメージ



検討3 方針実現のための手段・手法の検討

検討した方針に関して、実現するための手段・手法を考えましょう。また、その手段・手法により復興まちづくりを進めるにあたって、メリット（利点）やデメリット（問題点や課題）となることを考えましょう。

検討成果のイメージ

エリア名	手段・手法	事業のねらい	メリット	デメリット
A地区	高台移転	津波シミュレーション結果から現地は危険性が高く住めない	みんなで移転できる	従前地がどうなるか
B地区	防潮林	緑豊かなまち並みにしたい	手続き時間が短縮	用地の確保
C地区	現地嵩上げ	住み慣れた場所で生活したい	津波が来ない	嵩上げが高いと地震の揺れが心配
D地区	構造規制	直ぐに再建したい	早く再建できる	建設コストが高くなる
・				
・				
・				